

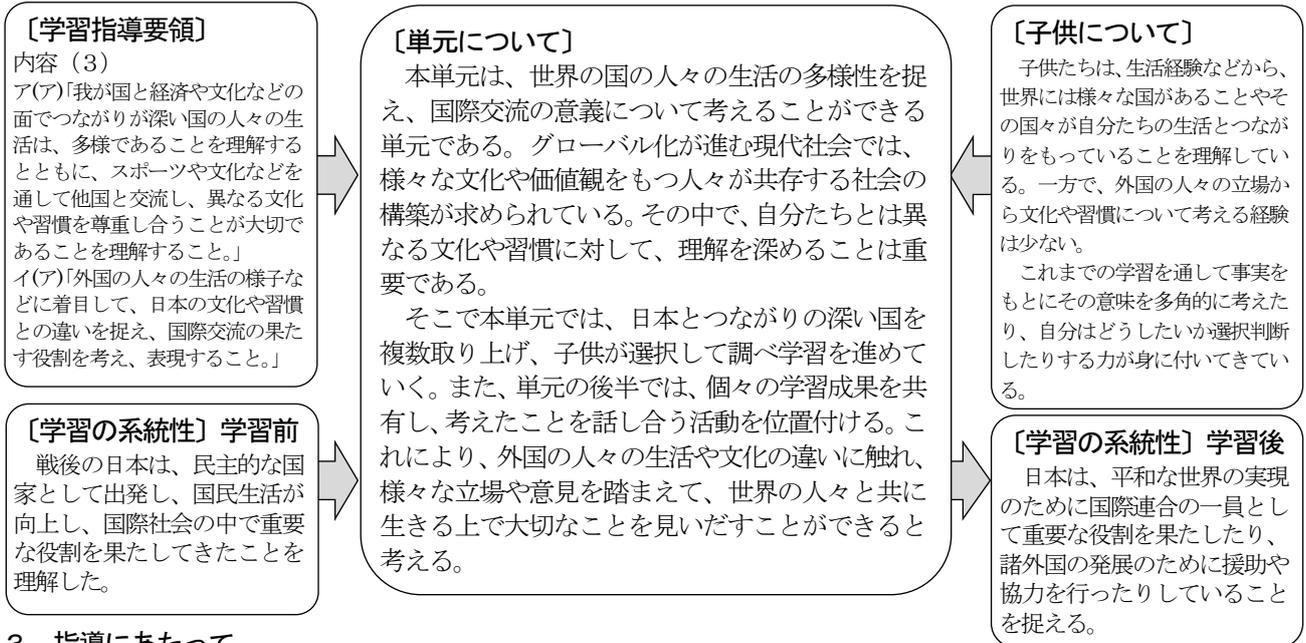
第6学年社会科学学習指導案

日 時 令和7年2月15日(土) 2校時
場 所 6年3組教室
児 童 男18名 女18名 計36名
指導者 三 浦 一 太

1 単元名

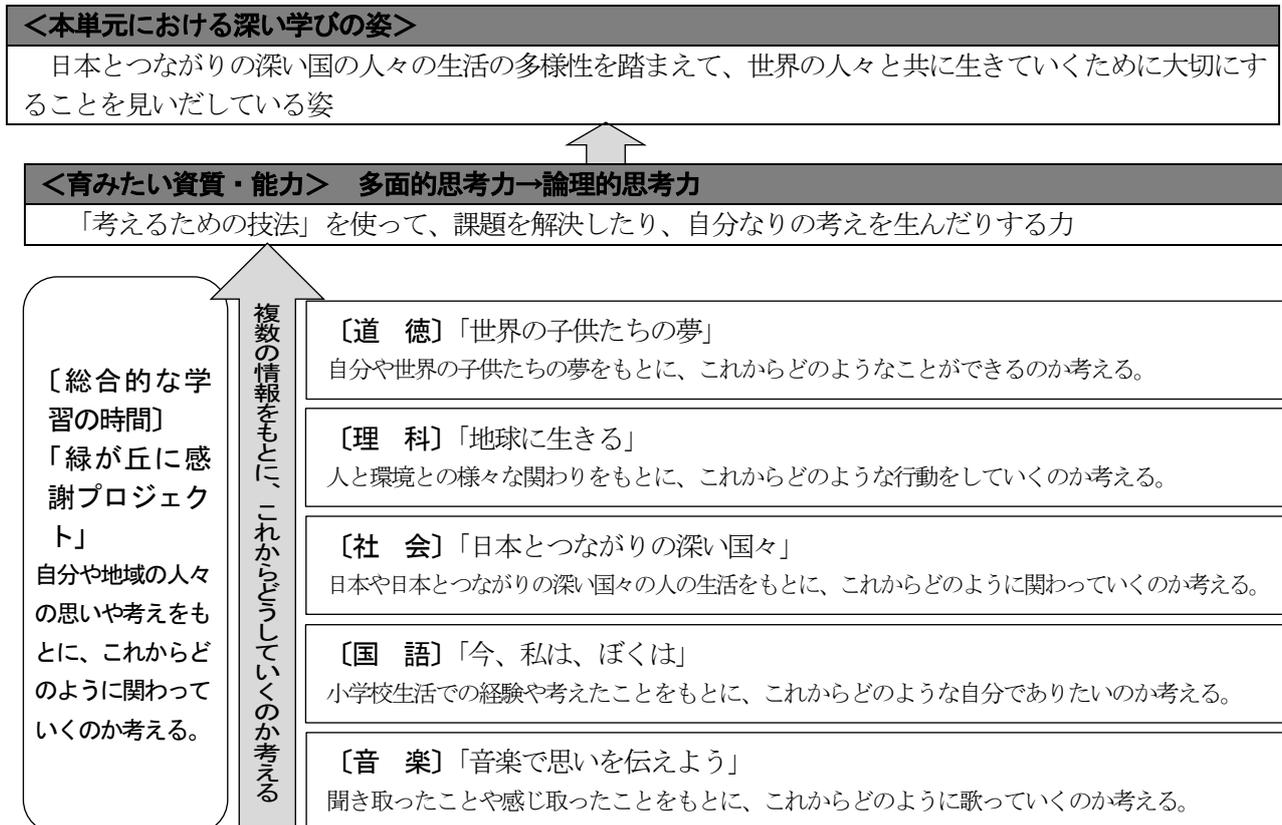
3 世界の中の日本 (1) 日本とつながりの深い国々

2 単元の指導構想



3 指導にあたって

視点1 資質・能力を育むためのカリキュラム・デザイン



視点2 深い学びの実現に向かう探究的な単元構成

- 日本と外国とのつながりや違いに興味・関心をもつことができるように、単元の導入時に人・もの・文化・スポーツなど国同士のつながりや衣食住など生活の様子の違いが分かる資料を提示し、「知っていることや見たことがあるものはあるか」「疑問に思ったことはあるか」などと問う。また、世界の人々との関わりに着目することができるように、異文化の人同士で起こった考えのずれに関わる事例の資料を提示し、「なぜこのようなことが起こったのか」問う。【探（出会い）】
- 社会的事象について予想や学習計画を立て、学習を振り返ったり見直したりして、必要に応じて追究の仕方を更新・修正しながら問題を解決していくことができるように、単元の中に学習を調整する3つの活動を位置付け、子供の必要感や学習状況に合わせて支援を行う。【探（調整）】

① 学習の見直しをもつ活動

予想や既習をもとに学習計画を立てることができるように、「どの国を調べたいか」「どんな視点で調べるか」「どんな資料が必要か」問う。

② 単元の中盤に問題解決状況を見つめ直す活動

学習問題や学習計画に立ち返って追究状況を見つめ直すことができるように、「日本と外国の生活のどんな違いを見つけたか」「他に調べるべきことはないか」「他に必要な資料はないか」問う。

③ 単元末に問題解決状況や学び方を振り返る活動

単元全体の問題解決状況を振り返って考えの深まりを自覚することができるように、「学習問題について十分に考えをつくることができたか」問う。また、学習内容や方法の意義を自覚し、これからの学習につなげることができるように「学んでよかったと思うことは何か」「自分の学び方はどうだったか」問う。

- 学習問題の解決に向けて個の解決の見直しをもとに学習を進めることができるように、調べる国、資料、学習形態、まとめ方などを選択して学習することを促す。【個】
- 日本とつながりの深い国の人々の生活は多様であることを捉え、国際交流の果たす役割を多角的に考えることができるように、選んだ国について調べた事実やそこから考えたことをもとに考え話し合う活動を位置付ける。【協】

視点3 単位時間の考える活動の充実

- 問題解決に向けて必要な情報を集めて、日本と外国の生活の違いやつながり、人々との関わりについて考えをまとめることができるように、ICTを活用した単元学習表などを用いて学習状況を把握し、適切な資料選択を促したり、考えの根拠や理由を明確にする問い返しをしたりする。【個】
- 多様な立場や意見を踏まえて、日本とつながりの深い国の人々の生活や、異なる文化や習慣を尊重することの大切さについて考えことができるように、「世界の人々の生活の様子にはどんな暮らしをしていたか。」「世界の人々とどのように関わっていけばよいか。」問う。【協】
- 日本やつながりの深い国の人々の生活、世界の人々との関わり方を様々な側面から捉えることができるように、それぞれの国について調べた視点や調べた事実、そこから考えたことなどのつながりを板書で可視化する。【協】

4 単元の指導計画

(1) 目標

グローバル化する世界と日本の役割について、外国の人々の生活の様子などに着目して、地図帳や地球儀、各種の資料で調べてまとめることで、日本の文化や習慣との違いを捉え、国際交流の果たす役割を考え、表現することを通して、我が国と経済や文化などの面でつながりが深い国の人々の生活は多様であることや、スポーツや文化などを通して他国と交流し、異なる文化や習慣を尊重し合うことが大切であることを理解するとともに、主体的に学習問題を追究・解決しようとする態度やよりよい社会を考えようとする態度を養う。

(2) 評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
① 外国の人々の生活の様子などについて、地図帳や地球儀、各種の資料で調べて、必要な情報を集め、読み取り、日本の文化や習慣との違いを理解している。 ② 調べたことを図表や文などにまとめ、日本とつながりが深い国の人々の生活は多様であることや、スポーツや文化などを通して他国と交流し、異なる文化や習慣を尊重し合うことが大切であることを理解している。	① 外国の人々の生活の様子などに着目して、問いを見だし、日本の文化や習慣との違いについて考え、表現している。 ② 自分たちと日本とつながりの深い国の人々の文化や習慣を比較したり関連付けたり、総合したりして、世界の人々との関わり方や異なる文化や習慣を尊重し合う大切さを考え、表現している。	① 日本とつながりの深い国の人々の生活の様子について、予想や学習計画を立てたり、学習を振り返ったりして、学習問題を追究し、解決しようとしている。

(3) 指導計画 (7時間)

段階	主な学習活動	指導の手立て	評価基準 (評価方法)
問題の把握 第一次	1 外国から入ってきた身の回りのものや文化やスポーツを通じた交流について話し合う。	<ul style="list-style-type: none"> 日本と外国とのつながりや違いに興味・関心をもつことができるように、単元の導入時に人・もの・文化・スポーツなど国同士のつながりや衣食住など生活の様子の違いが分かる資料を提示し、「知っていることや見たことがあることはあるか」「疑問に思ったことはあるか」などと問う。【探 (出会い)】 	日本と外国のつながりや共通点・相違点について理解している。 【知・技①→発言・記述】
	2 日本とつながりの深い4か国の基本情報を整理し、調べてみたいことを話し合っって学習問題をつくり、学習の見通しをもつ。	<ul style="list-style-type: none"> 世界の人々との関わりに着目することができるように、異文化の人同士で起こった考えのずれに関わる事例の資料を提示し、「なぜこのようなことが起こったのか」問う。【探 (出会い)】 	外国の人々の生活の様子などに着目して、問いを見いだしている。 【思・判・表①→発言・記述】 学習問題の解決に向けて予想や学習計画を立て、解決の見通しをもっている。 【態①→発言・記述】
	日本とつながりの深い国の人々は、どのような暮らしをしているのだろう。 ～世界の人々とどのように関わっていけばよいのだろう～	<ul style="list-style-type: none"> 予想や既習をもとに学習計画を立てることができるように、「どの国を調べたいか」「どんな視点で調べるか」「どんな資料が必要か」問う。【探 (調整①)】 	
問題の追究 第二次	3・4・5 選択した国の人々の生活の様子について、集めた資料を活用して様々な側面から調べ、日本との共通点や相違点、日本とのつながりについて考える。	<ul style="list-style-type: none"> 日本とのつながりや違いを意識して追究することができるように、調べた事実や考えに対して「日本と比べるとどうか」「自分たちの生活につながることはあるか」問う。【個】 根拠や理由を明確にして選択した国の人々の生活について考えることができるように、「どの資料から分かったのか」「なぜそう考えたのか」問う。【個】 選択した国の人々の生活を様々な側面から捉えることができるように、同じ国を選択した子供同士で調べたことを共有することを必要に応じて促す。 学習問題や学習計画に立ち返って追究状況を見つめ直すことができるように、「日本と外国の生活のどんなつながりや違いを見つけたか」「他に調べるべきことはないか」「他に必要な資料はないか」問う。【探 (調整②)】 選択した国の人々との関わり方について考えをもつことができるように、「調べたことを踏まえると、どのように関わっていけばよいか」問う【個】 	必要な資料や情報を集め、日本との共通点や相違点、つながりについて意識しながら、選択した日本とつながりの深い国の人々の生活の特色や文化について理解を深めている。 【知・理①→発言・記述】 学習してきたことをもとに、さらに調べたいことを見だし、見直しをもって追究しようとしている。 【態①→発言・記述】
まとめ 第三次	6 選択した国の人々の生活の様子について、調べた事実や考えたことを共有し、調べた国々と日本の交流について話し合う。(本時)	<ul style="list-style-type: none"> 世界の人々との関わり方について考えを深めたり広げたりすることができるように、調べたことや考えたことを共有することを促したり、共有した内容を構造的に板書にまとめたりする。また、国際交流の様子を提示し、「なぜこのような交流をするのか」問う。【協】 	衣食住・学校・行事などの日本や外国の人々の生活の様子の違いをもとに、多様な文化や習慣をもつ人々とどのように関わっていくか考えている。 【思・判・表②→発言・記述】
	7 学習問題について分かったことや考えたことを表や文にまとめて伝え合ったり、単元の学び方を振り返ったりする。	<ul style="list-style-type: none"> 学習問題についての自分の考えをつくることができるように、単元学習表をもとに日本とつながりの深い国の人々の生活について調べたことや分かったことを振り返ることを促す。 単元全体の問題解決状況を振り返って考えの深まりを自覚することができるように、「学習問題について十分に考えをつくることできたか」問う。また、学習内容や方法の意義を自覚し、これからの学習につなげることができるように「学んでよかったと思うことは何か」「自分の学び方はどうだったか」問う。【探 (調整③)】 	調べたことを表などに整理し、日本とつながりが深い国の人々の生活は多様であることや、スポーツや文化などを通して他国と交流し、異なる文化や習慣を尊重し合うことが大切であることを理解している。 【知・技②→記述】 自分たちと日本とつながりの深い国の人々の文化や習慣を比較したり関連付けたり、総合したりして、国際交流の果たす役割や、異なる文化や習慣を尊重し合う大切さを考え、表現している。 【思・判・表②→発言・記述】

5 本時の指導計画（本時6/7）

(1) 目標

日本と外国、外国と外国の生活の様子の違いをもとに、世界の国の人々とどのように関わっていくとよいか考えることができる。 【思考力、判断力、表現力等】

(2) 評価規準

おおむね満足	努力を要する児童への支援
衣食住・学校・行事などの日本や外国の人々の生活の様子の違いをもとに、多様な文化や習慣をもつ人々とどのように関わっていくとよいか考えている。 [思考・判断・表現]	「友達の調べたことを聞いて新たに見つけた生活の様子の違いは何か」「友達の考えの中で、自分の考えを詳しくしたり、広げたりする考えはどれか」問う。

(3) 展開

段階	主な学習活動・学習内容	教師の支援（◇評価）	資料 等
導入 (3分)	1 本時の学習の見通しをもつ。 世界の人々とどのように関わっていけばよいのだろう。	<ul style="list-style-type: none"> 本時の学習の見通しをもつことができるように、単元計画や自分の選択した国について調べたことや考えたことなどを振り返ることを促す。 	
展開 (35分)	<p>2 調べた事実や考えたことを伝え合い、日本や選択した国の人々の生活の共通点や相違点、日本とのつながりなどについて考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> それぞれの文化や習慣には違いが見られる。 内容は違うけれど、スポーツや行事を楽しんでいることは同じ。 日本とは遠い国でも、日本の文化を取り入れている国もある。 自分たちは、様々な文化をもつ国とつながりをもっている。 <p>3 世界の国の人々との関わり方について話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> お互いの文化や習慣を受け入れることが大切だと思う。 自分から進んで、他の文化について知ったり、自分の文化を伝えたりすると思う。 交流する場をつくったり、積極的に参加したりすると思う。 	<ul style="list-style-type: none"> 日本や外国の人々の生活の様子について比較したり関連付けたりして考えることができるように、共通して伝え合う視点や伝え合った後の姿について確認する。 日本とつながりの深い国の人々の生活について新しい側面や意見を踏まえて考えることができるように、「世界の人々の生活の様子にはどんな違いが見られたか」「自分たちの生活とどんなつながりがあったか」問う。 <p>手立て 協働的な学び 世界の人々との関わり方について考えを深めたり広げたりすることができるように以下の支援を行う。</p> <ol style="list-style-type: none"> 考えたこと、根拠、理由などのつながりを構造的に板書にまとめる。 スポーツや文化を通じた交流に関わる資料を提示し、「なぜこのような交流をしているのか」問う。 必要に応じて「例えばどういうことか」「まとめるとどういうことか」などと問う。 	<ul style="list-style-type: none"> 単元学習表 これまでの学習で活用した根拠となる資料 国際交流の様子(写真)
まとめ (7分)	4 本時の学習を振り返る。 世界には様々な生活や文化があるので、それをお互いに受け入れ、尊重しながら関わっていくとよいと思う。 国同士のつながりや違いを知るためにも、スポーツや文化などいろいろな交流をすることが大切だと思った。	<ul style="list-style-type: none"> 本時の学びを自覚し、考えを再構成することができるように、「①まとめ」「②考えたこと」の視点で振り返りを書くことを促す。 <p>◇ 衣食住・学校・行事などの日本や外国の人々の生活の様子の違いをもとに、多様な文化や習慣をもつ人々とどのように関わっていくか考えている。 【思・判・表→発言・記述】</p>	<ul style="list-style-type: none"> 単元学習表

